

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスゆいすぼ		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 1日		令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	(回答者数)	
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 1日		令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	(回答者数)	
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 12月 1日		令和8年 2月 28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	(回答数)	
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの状況を見て、課題の要因や支援方法の判断を行う	訪問先の負担が少ない現実的な解決策を相談している。	訪問先、保護者へ保育所等訪問支援についての共通理解を促す。
2	訪問先のスケジュールを重視した日程調整	保護者から問題行動や困り事を聞きそれらが起きやすい時間を訪問先と相談して日時を決めている。	問題行動の要因となる、発達障害についての説明会を行う。
3	保護者、訪問先へフィードバックを行い、情報共有と支援方法について相談している。	子どもの状況について分かりやすい説明を心掛けその要因についても補足して伝えている。	訪問支援のサービスを知らない保護者、教員への周知を行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援員の人数。	訪問支援の知識と経験のある職員が少ない	支援可能な技術、知識、経験を持った職員の育成を行う。
2	地域の協議会への参加が少ない。	日程調整が難しい	日程調整を行い、他事業所との意見交換の場を持てるようにする
3	3 父母会の開催がない。	保護者からの要望がない為	保護者からの相談や疑問には随時対応できるようにしている